

蓋にトゲが無いサザエ

稲取支所から「トゲの無いサザエがとれた。新種か？」との連絡がありました。殻にトゲの無いサザエは波の静かな場所にいる、という説もあり特に珍しくはないのですが、今回のトゲは蓋のトゲのことでした。

サザエやバテイラ（シッタカ）のように蓋のある巻貝は多くいます。アワビも幼生の時には蓋を持っています。この蓋は外敵から身を守る役割があるとされていますが、サザエでは蓋を閉じて貝殻の中に海水をためることで陸上でも数日間は生き延びることができると言われています。図鑑を見ると、サザエのように石灰質の蓋を持つ巻貝はいくつかいるのですが、蓋にトゲがあるものはサザエ以外には見つからず、サザエの特徴と言えそうです。しかし、一番目立つ場所にある蓋の表面にあるトゲの役割について説明された資料は見つからず、何のためのトゲなのかは謎です。

普通のサザエと並べてみると、確かに蓋の表面はなめらかでトゲはありません。しかし蓋の外縁のあたりには、トゲの痕跡のようなつぶつぶとした模様も確認できます。蓋は、普段は殻の中に隠れていて何かあると貝殻の中に身が隠れ、その代わりに蓋が外側に出てきます。蓋のトゲ以外の特徴はサザエと同じなので、何らかの異常でトゲが形成されなかったのか、殻との間で擦れて無くなってしまったもの考えられます。

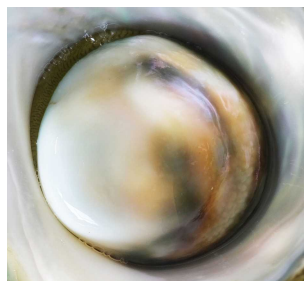
採捕記録

採捕日：2020年8月28日 採捕者：伊豆漁協稲取支所 中山勇人氏（三共丸）

再捕場所：東伊豆町稲取地先 大きさ：体重270g、殻高104mm



通常のサザエ（左）と蓋にトゲが無いサザエ（右）



蓋の外縁付近にはトゲの痕跡のようなものがみられる

（高木康次）